

## 朝礼—校長講話—（1月22日）

いいですね、こうやってすべてのクラスが揃っているというのは。先週、1年C組で、突然、インフルエンザや発熱などの症状で欠席する人が増えたので、それ以上広がらないようにという意味で学級閉鎖をしましたが、その期間が終わり、こうしてほとんどの子が登校してくれました。1年C組のみなさん、「おかえりなさい」。元気だった子には申し訳ないことをしたと思いますが、体調を崩していたこにとっては十分に休むことができたのではないのでしょうか。

このように、いよいよインフルエンザの流行する時期になってきました。こうやって見ていると、体調を崩し、人にうつさないようにというエチケットでマスクをしている人や、反対に、元気だけど病気にならないようにという予防の意味でマスクをしている人など、マスク姿の人が増えてきました。とてもよいことだと思います。マスクだけでなく、手洗いやうがい、そして、クラスでは換気や濡れタオルなどの対策をしっかりしてほしいと思います。

さて、韓国で行われる平昌オリンピックまで、あと18日となりました。また、2020年に開かれる東京オリンピックまで、あと2年となりました。そのオリンピックを目指して、ここの中からそんな選手が生まれてくれればすばらしいことですが、選手として出場するだけでなく、さまざまな形でオリンピックに携わる人が出てくるのではないかと考えています。ですから、そういう目で平昌オリンピックにも注目してほしいと思います。

そのオリンピックをめざしているみんなと同世代の選手の活躍が、この週末にありました。男子の卓球でずっと勝ち続けていた水谷選手を決勝で破ったのが、14歳の中学生、張本選手です。そして、女子シングルスでは、伊藤美誠選手が優勝しました。その二人の優勝もそうですが、その後のインタビューを聞いて、すごいなと思いました。何をすごいと思ったかという、しっかりと自分の言葉で話しているんです。

今、ちょうど3年生は入試に向けて面接練習が始まっていますが面接で必ず聞かれるのが「どうして、うちの学校を志望しましたか」という志望理由です。これをマニュアルどおりに答えるのではなく、自分がどうしてもその学校へ行きたい、そこへ行こうということをしたい、ということ自分の言葉で語ってほしいのです。それができる人は、面接の練習をいっぱいした人じゃなく、3年間の中学校生活を一生懸命過ごした人だと思えます。スポーツにせよ、勉強にせよ、その目標に向かって努力を重ね、自分の言葉で語れるようになってくれることを願っています。